

耳・鼻の病気

耳や鼻の病気は繰り返すことも多く、
長期の通院や薬の服用に不安を感じているママも多いようです。
気になる耳や鼻の病気について耳鼻科の先生に聞きました。



アドバイザー

西城隆一郎さん

耳鼻咽喉科専門医（医学博士）
@niftyインターネット医科大学
（医療相談サイト）で
小児耳鼻咽喉科を担当
西城耳鼻咽喉科アレルギー科院長

Q1 アレルギー性鼻炎の 治療法は？



5歳の男の子。近所の耳鼻科でアレルギー性鼻炎と診断されました。一年の大半は水っぽい鼻水をたらしていません。専門的な病院に行ったらほうがいいでしょうか？

〔埼玉県越谷市 しゅんまゆママ〕

A 治療の前に アレルギー検査を

アレルギー性鼻炎は、ほこりやダニ、花粉などが原因となり、鼻の粘膜が過敏反応を起こす病気です。症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまりです。

治療の前に血液検査でアレルギーの原因を調べることが先決です。原因がわかれば、抗原除去といって、例えば、原因がハウスダストであれば、掃除をこまめにするなど、原因物質を遠ざける努力をしてください。それでも症状が



治まらない場合は、薬による治療を行います。治療効果が十分でない場合には減感作療法といって、原因となる物質のエキスを何度も注射し、体質を変えて過敏反応を起こらなくする方法があります。

また、鼻の粘膜にアルゴンプラズマやレーザーを当て、アレルギー反応を起こしにくい粘膜に変性させる方法もあります。これらは6歳ぐらいからの治療が可能で、希望があれば、専門クリニックで相談するのがよいでしょう。

Q2 中耳炎を繰り返します 予防法は？



4歳の娘は、風邪をひくと必ず中耳炎に。薬を飲むと治

りますが、最近耳が聞こえにくいようで気になります。また何度も繰り返すと耳に異常をきたすのではと心配です。予防法を教えてください。

〔東京都八王子市 匿名希望〕

A 繰り返す場合は 鼓膜チューブ留置術

中耳炎とは、鼓膜の奥の中耳という部位に炎症を起こす病気です。中耳炎には①痛みや発熱を伴う急性中耳炎②痛みや熱はないが中耳に水がたまり、聞こえが悪くなる滲出性中耳炎③両者を繰り返す反復性中耳炎があります。中耳は耳管という管で鼻とつながっています。鼻の調子が悪いと

耳管から中耳にバイ菌が入りやすく、治りが悪い原因になります。また、アデノイド（咽頭扁桃）が大きいと中耳炎を繰り返す原因になります。予防法としてはまず、鼻の病気の治療を行います。治療をしても中耳炎を繰り返すよ

うなら、鼓膜に直径約1ミリの小さなチューブを入れる（鼓膜チューブ留置術）ことで中耳炎の繰り返しを予防できます。また、アデノイド（咽頭扁桃）が大きい場合は、手術をすると良くなることもあります。

Q3 副鼻腔炎を完治 させたいのですが



小児副鼻腔炎の6歳の男の子。耳鼻科では、鼻水やせきが出なくても薬を長期服用するように言われます。薬を使わず完治させる方法はないでしょうか。また、最近耳の聞こえが悪くなったようですが関係はありますか？

〔東京都大田区 ケンちゃんママ〕

A 成長すると 完治することが 多いので気長に

鼻の奥には副鼻腔という、

骨に囲まれた空洞があり、そこに炎症が起こり、膿（うみ）がたまる病気を副鼻腔炎といいます。症状は、ネバネバした鼻水、鼻づまり、タンなどです。軽度の場合は、お母さんから見ると症状がなく、一見治ったように見えることもあります。実際には治っていないことがよくあります。

副鼻腔炎の治療は、鼻水の吸引や薬の内服、吸入で、小児の場合、特別な状態を除き、手術は行いません。

現在のところ、画期的な治療法はなく、耳鼻科に定期的に通い、症状に応じた治療を受けることが大切です。ただ、副鼻腔炎、中耳炎はかかりやすい体質があり、同じ子が何度も繰り返します。どちらも10歳ぐらいになると治ることが多いので、それまでは気長に治療に取り組みましょう。

耳が聞こえにくいのは、Q2で説明した滲出性中耳炎の可能性もあるので、早めの受診をおすすめします。

子育ての悩み募集

「健康」「しつけ」「食事」の3つのテーマで、子育てに関する質問や悩みを募集しています。みなさんの質問には、専門家がアドバイスします。相談内容と〒住所、氏名（匿名希望の場合は明記を）、職業、年齢、子どもの性別と年齢、電話番号を明記し、「あんふあんくらぶ」のページに書いてある応募先（ハガキ、ファクス、インターネットのいずれかの方法）で、「あんふあん」ママの質問箱係へ。

*掲載の場合は、あんふあんオリジナルグッズをプレゼント